

「麻しん」診断時の対応について

(1) 発生届の届出

麻しんと診断した場合は、直ちに発生届を感染症サーベイランスシステムまたはFAXにて提出いただくと同時に、西宮市保健所へ電話でご連絡ください。

～ 届出基準 ～

- ・検査診断例: 全て認める (発熱 (37.5℃以上) ・発疹・カタル症状・IgM 陽性)
- ・臨床診断例: 全て認める (発熱 (37.5℃以上) ・発疹・カタル症状)
- ・修飾麻しん (検査診断例): IgM 陽性 (必須) かついずれか該当 (発熱 (37.5℃以上) ・発疹・カタル症状)

※カタル症状とは…咳、鼻汁、結膜炎、眼脂、コプリック斑、肺炎、中耳炎、クループ、脳炎など

【 平日 8 時 45 分から 17 時 30 分 】

保健予防課 感染症予防チーム

電話: 0798-26-3675

FAX: 0798-33-1174

【 時間外・土日祝日 】

西宮市役所 衛士室

電話: 0798-35-3151

※電話がつながり、メッセージが流れた後に衛士室職員が出ます。

衛士室職員が連絡先を聞き取り、後ほど保健所職員が折り返しお電話します。

(2) 麻しんの PCR 検査の検体採取

検体器具・容器については、医療機関でご負担ください。

以下の3検体の採取と病原体検査依頼票 (麻しん) の作成をお願いします。

検体の種類	検体量	採取容器	保存方法
全血	2～3 mL	抗凝固剤 (EDTA またはクエン酸) 入り採血管 ※血算用スピッツ (白血球・赤血球・血小板数測定用) は通常 EDTA 入りです。 ※ヘパリン入り採血管は不可	冷蔵保存
尿	15cc	滅菌容器	
咽頭拭い液		滅菌綿棒で採取後、滅菌スピッツへ入れ、 乾燥防止のため に少量の生理食塩水を加えて密封	

(3) 医療機関における血清 IgM 抗体検査の実施

診断に際し、麻しん血清 IgM 抗体検査等の血清抗体価の測定をお願いします。